

■ 令和6年度 第3回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和7年2月7日(金)10:00~12:00

2 出席者:学校運営協議会委員 11名

羽島市教育委員会 教育支援センター

3 内容

(1) あいさつ(会長)

放課後の運動場に遊びに来て元気に走り回っている姿は嬉しい。足近の子の良さ。

(2) 授業参観

*各学級2分ほど参観

(3) 協議等

*現状について学校長より報告

不登校児童が増えてきた。

学校に行かない選択肢もある。無理に来させようとしていない。

心に負担を抱えている児童へのケアや取り組ませ方を考えていく。保護者には切実感はない。

*教育活動アンケートについて

今年度中に公表する。

地域に関わる項目の数値をあげるために、地域のニーズに応えられる学校にしていきたい。

ほかほかレターは地域の自慢でもあり、足近町の特徴となりつつある。

学校での教育は、相手の気持ちを分かって自分の方法を見つけていく新しい学び方をしている。

*令和7年度の学校運営方針について

・教育目標は現在のまま、・大事にしていることは安全。

・具現として、地域とのかかわりに楽しさや喜びを感じる交流活動

他校との交流活動

自分らしさを出して効果的に身に付ける学力 ICT とどう関わらせるか

ステップアップできるよう意識した指導

・学校運営協議会との連携

地域からのほかほかレター

児童から地域へのレターを考えている。

・保育園との連携

保育園・幼稚園からのゆるやかな継続、橋渡し時期の指導を次年度から行っていく。

・新しい時代に向けて

学校運営協議会の立場で、教員の立場で考えていく。

＊令和7年度の学校運営協議会委員について

充て職に変更がなければ提案通りにする。

(4) 意見交流

【委員】子供たちがiPadを使いこなしていることがすごい。

【委員】卒園児の成長した姿を見ることができた。幼保小の連携がうまくできるとよい。

【委員】「畑のおじさん」と声をかけてくれる。小さい時にやったことは残っている。花を見る土に触るだけで子供たちは楽しめる。水やりをして成長をみながら自然の中の学びを深めてほしい。

【委員】中学生が橋の上でずっと立っていたのを地域から連絡を受けた。青パトで回ってコミセンにつれてきた。何をするわけでもなくコミセンに1日いた。

コミセンで居場所づくりができたと思う。

【委員】足近小での不登校に驚いた。コミセンで2歳児の子育ての講座を開いている。居場所があることを知ってほしい。

独居老人、普段話をする人がないので、5年生との交流を楽しみにしている。

【委員】読み聞かせて楽しませていただいている。足近マラソンにたくさんの児童が参加してくれて嬉しかった。

日本語が理解できない子のためのボランティアをしている人がいるので、協力できれば。

【委員】子供の雰囲気、教室に入った瞬間に感じる空気がリラックスできる。

子供は減っていくけど、先生は一生懸命やっている。いい学校になってきた。

下校の時間に合わせて散歩に出るようにしている。よくあいさつしてくれる。

【委員】足近の子の様子をみて、心あたると実感した。

不登校児童の保護者はきっと悩んでみえる。対応する大人が親だけになってはいけない。先生や地域の人がふれあうことで、関わってくれる・心配してくれる大人がいっぱいいると感じてほしい。家に閉じこもるのではなくどこでもよいからでることで次のステップに進める。

(5) 閉会の挨拶(会長)

学校運営協議会は、地元に住んで学校を支えていく立場。学校が地域の基本なので、これからもお力を賜りたい。